




審査結果報告書

令和3年 1月 27日

主査 氏名 石川 均 

副査 氏名 阪上 洋行 

副査 氏名 福田 倫也 

副査 氏名 川崎 拓志 

1. 申請者氏名 : DM17029 松浦 将人

2. 論文テーマ :

Improving the structure-function relationship in glaucomatous and normative eyes by incorporating photoreceptor layer thickness

(視細胞層厚の考慮による緑内障眼および正常眼における構造と機能の改善)

3. 論文審査結果 :

従来、緑内障における網膜の構造と視機能との関係を調査した多くの報告において、網膜内層に位置する網膜神経線維層厚と神経節細胞層 (GCL) + 内網状層 (IPL) 厚が減少することが明らかになっている。しかしながら、緑内障において網膜外層に位置する視細胞厚にどのような変化が生じるかに関しては、一定の見解を得ていない。今回、松浦将人君は正常眼と緑内障眼を対象に、網膜神経線維層厚と GCL+IPL 厚に視細胞外節層 (OSL) 厚を加えることにより構造と機能の関係がより明らかになるかどうかを研究し報告・発表した。さらに、眼軸長延長を起因とした強度近視正常眼と強度近視緑内障眼においても同様の検討を行った。結果として網膜神経線維層厚と GCL+IPL 厚に加え、OSL+網膜色素上皮厚を評価することは、緑内障における構造と機能の関係を理解する上でより重要であることが判明した。このため、例えば、より正確に緑内障の発症や進行を OCT を用いて解析する際に、OSL+網膜色素上皮厚の減少も考慮することが有用であると考えられた。

審査は松浦君発表の後、主査、副査の先生方を含め活発な質疑・応答がなされた。以上より、本研究並びに審査より学位にふさわしい結論となった。